

診療科名			月	火	水	木	金	備考		
内 科	呼吸器	午前	森 雄亮(※1)	遠藤 美有*(※6)	森 雄亮	小松 正弥	森 雄亮	(※1)予約のみ診療		
			平賀 紗喜*	-	大平 秀典*	赤池 幸歌*	磯嶋 佑*	(※2)第2週のみ診療		
			-	-	矢寺 和博*(※2)	-	-	(※3)13:30～17:00まで診療		
	消化器		梶谷 健太*	内原 大樹*	吉富 健悟*	久米井 伸介*	松藤 寛治*	(※4)紹介・初診患者は原則要予約		
	超音波検査外来		馬場 三男*	-	-	-	-	(※4)第1・3・5週のみ診療		
	神経		-	末永 章人	-	-	末永 章人	(※5)第2・4週のみ診療		
	甲状腺		佐藤 薫*	-	-	-	-	(※6)呼吸器内科(火曜日)は再診患者のみ診療		
	腎臓		宮崎 三枝子	宮崎 三枝子	-	宮崎 三枝子	-			
	膠原病		-	-	-	-	中山田 真吾*(※4)			
消化器内視鏡検査(※3)	午後	-	-	上田 剛*	大江 晋司*	神田 龍一郎*(※5)				
循環器 内 科	循環器全般	午前	中村 圭吾	屏 壮史	津田 有輝	谷口 弦太郎*	津田 有輝	(※1)9:00～12:00まで診療		
専門外来	ペースメーカー (※1)		-	-	-	-	(※1)第1・3週のみ診療			
小児総合医療センター	(専門診療)	午前	高野 健一 今村 徳夫 長嶺 伸治 藤崎 徹 本田 裕子	天本 正乃 本田 裕子 富田 一郎 石橋 紳作 福井 香織	天本 正乃 石橋 紳作 八坂 龍広 森吉 研輔 -	安井 昌博 今村 徳夫 福井 香織 中野 慎也 吉田 峻	天本 正乃 高野 健一 石橋 紳作 富田 一郎 -			
			発達障害(※1)	-	村上 知恵	-	村上 知恵	-	(※1)13:00～16:00まで診療【予約制】	
			遺伝・代謝	-	-	-	-	福井 香織(※2)	(※2)第3週以外診療	
			神経・てんかん(※1)	-	-	-	-	松石 豊次郎*(※3)	(※3)隔月・第3週のみ診療	
			夜尿症(※1)	今村 徳夫	-	-	今村 徳夫	-	(※4)第2、4週のみ診療	
			内分泌(※1)	-	-	富田 一郎	-	-	(※5)第1、3、5週のみ診療	
			-	-	-	齋藤 玲子*(※4)	-	-	(※6)第3週のみ診療	
			腎(※1)	-	-	中野 慎也	-	-	(※7)第1、2、4、5週のみ診療	
			消化器・肝臓(※1)	午後	水落 建輝(※6)	-	-	-	-	
			アレルギー(※1)	小野 佳代	-	-	小野 佳代	小野 佳代		
		沖 剛		-	-	沖 剛	沖 剛(※4)			
		中野 珠菜(※7)		-	-	-	中野 珠菜(※5)			
		血液(※1)		佐藤 哲司*(※4)	-	-	-	-		
		血液・腫瘍(※1)	-	-	安井 昌博	-	-			
			-	-	稲垣 二郎	-	-			
			-	-	本田 裕子	-	-			
			-	-	松石 登志哉	-	-			
		免疫・膠原病	午前	-	-	-	神園 淳司* 松石 登志哉(※5) 西小森 隆太*(※4)	- - -		
		小児循環器	午前	-	寺町 陽三*	-	-	-		
	午後	-	-	-	-	長嶺 伸治(※1)				
外 科	一般外科	午前	野口 純也 上原 智仁 -	金野 剛 - -	山吉 隆友 上原 智仁 -	沖本 隆司 田上 貴仁 -	山吉 隆友 又吉 信貴 -	(※1)14:00～17:00まで診療【予約制】 (※2)[乳がん二次検診]は月曜日のみ【予約制】 ⇒ 予約:地域医療連携室へご連絡ください。		
	消化器・肝臓外科		岡本 好司	木戸川 秀生	岡本 好司	木戸川 秀生	野口 純也			
	呼吸器外科		-	井上 征雄	-	-	-			
	小児外科		新山 新	新山 新	-	新山 新	-			
	乳腺外科(※1)	午後	田上 貴之*(※2)	井上 征雄	-	-	-			
整形外科		午前	岡部 聡 田島 貴文	目貫 邦隆 大久保 友貴	栗之丸 直朗 堀之園 聡	田島 貴文 岡部 聡(※3)	目貫 邦隆 栗之丸 直朗	(※1)第4週(13:30～16:30)のみ診療 (※2)第1、3、5週のみ診療 (※3)第2、4週のみ診療		
		午後	-	酒井 昭典(※1)	-	大久保 友貴(※2)	-			
形成外科		午前	今村 禎伸 古川 くるみ	田崎 幸博 古川 くるみ	今村 禎伸 -	今村 禎伸 -	田崎 幸博 古川 くるみ			
	□唇裂・口蓋裂外来	午後	-	-	-	田崎 幸博	-			
脳神経外科		午前	高松 聖史郎 藤 圭太	越智 章*(※1) 担当医	非常勤医師*(※1) -	高松 聖史郎 藤 圭太	高松 聖史郎 岸本 拓也	(※1)9:00～11:00まで診療		
皮膚科	新患担当	午前	古河 裕紀子	古河 裕紀子	村尾 玲	古河 裕紀子	村尾 玲			
	再診担当		村尾 玲	赤崎 真子	赤崎 真子	鶴田 紀子*	古河 裕紀子			
泌尿器科		午前	松本 博臣	野間 悠太郎	松本 博臣	野間 悠太郎	松本 博臣			
婦人科		午前	今福 雅子	今福 雅子	今福 雅子	今福 雅子	今福 雅子			
眼科		午前	板家 佳子	板家 佳子(※1)	板家 佳子	板家 佳子	板家 佳子	(※1)予約のみ診療		
耳鼻咽喉科・頭頸部外科		午前	大久保 淳一・高橋 梓	大久保 淳一・高橋 梓	大久保 淳一・高橋 梓	大久保 淳一・高橋 梓	大久保 淳一・高橋 梓			
精神科(※1)		午前	石井 浩喜	石井 浩喜	石井 浩喜	石井 浩喜	石井 浩喜	(※1)紹介・初診患者は要予約 (※2)14:00～16:00まで診療【予約制】		
	もの忘れ外来	午後	-	-	石井 浩喜(※2)	-	-	(※2)原則、第3週の水曜日以外診療		
歯 科		午前	渡辺 幸嗣	渡辺 幸嗣	渡辺 幸嗣	渡辺 幸嗣	渡辺 幸嗣			
ペインクリニック		午前	金色 正広(※1)	-	-	金色 正広	-	(※1)予約のみ診療		

※ 新患受付時間 午前8:00～11:00(一部診療科を除く)
急患については、この限りではありません。

※ 学会等により休診及び代診となることがあります。

※ 個人からのお問い合わせは、代表番号【093-662-6565】へお願いします。

※ 新患の方は、かかりつけ医または最寄の病院からの「紹介状」をお持ちください。
紹介状がない場合は「選定療養費(7,700円 税込)」をご負担いただきます。

地方独立行政法人 北九州市立病院機構

北九州市立八幡病院

https://www.kitakyu-cho.jp/yahata/

〒805-8534
北九州市八幡東区尾倉2丁目6番2号
TEL 093-662-6565(代表)
093-662-1759(小児救急センター)
FAX 093-662-1796

八幡病院
ホームページ

八幡病院
Instagram

国際通り

ひびき
信用金庫

50

3

八幡駅

北九州市立八幡病院

八幡図書館

患者さんのご紹介やお問い合わせなどは地域医療連携室をご利用下さい。 TEL0120-41-6565(地域医療連携室直通)

ACCESS JR鹿児島本線：JR八幡駅から南へ徒歩9分 西鉄バス：「市立八幡病院」病院敷地内「八幡駅入口第一・第二」から徒歩6分

八幡病院広報誌「さらくら」第42号

●2025年8月発行 ●発行・編集:八幡病院広報委員会 ●印刷:株式会社 ゼンリンプリンテックス

頭頸部がんについて

About head and neck cancer

■ 頭頸部がんとは

頭頸部がんは、口腔・咽頭・喉頭・鼻腔・副鼻腔・唾液腺・甲状腺・頸部リンパ節など、顔や首に位置する臓器（脳、眼球を除く）に発生する悪性腫瘍の総称です。摂食・嚥下や発声、呼吸、味覚、嗅覚などの機能が集中し生活機能やQOLに関わる重要な領域です。また、顔や頸部は他人から見える場所でもあり、患者さんの外見はイメージに直結します。手術してがんは根治した。しかし食事が摂れない、会話はできない、顔面は麻痺したなどの合併症を起こしてしまったらその手術の意味は問われることになるでしょう。局所解剖の複雑さから診断・治療には専門的な対応が求められ、解剖を熟知した術者の技量が試される分野といえます。

発症リスクとしては、喫煙・飲酒歴を有する中高年男性が多い傾向にあります。早期の発見により予後の改善が期待できるため、早期の受診が重要です。治療の基本は手術になりますが、早期であれば放射線治療でも根治できる場合もあります。また進行がんでは大きな切除を伴い形成外科と協力し再建術が必要となります。当科では再建術まで対応できる体制を整えました。まずはご紹介いただければと存じます。



■ 当科について — 喉頭を失っても音声再獲得をあきらめない —

私は現国立がんセンター東病院副院長の松浦一登先生の薫陶を受け、長年、産業医科大学で頭頸部癌治療に当たってきました。北九州で最も多くの手術症例経験があります。私が着任した2024年10月より耳鼻咽喉科から、耳鼻咽喉科・頭頸部外科に改称しました。がん治療である以上、生存率の向上が第一目標ですが、「食べる」「話す」をいかに維持するかをライフワークとしてきました。特に発声の機能を温存しがんを確実に切除する喉頭温存下咽頭部分切除術はまさに私の得意とする術式です。また喉頭摘出が必要な進行喉頭癌、進行下咽頭癌の患者さんも音声再獲得をあきらめる必要はありません。音声再獲得の戦略とリハビリに対する知識と経験があります。のどを失ってもまた自分の力で声を取り戻す。頭頸部がんの外科治療とその後のリハビリもわれわれにお任せください。

■ スタッフ

頭頸部がん専門医の大久保淳一主任部長に加え、今年度より日本耳鼻咽喉科専門医・指導医の高橋梓医師を向かえ、2名体制で診療を行っております。頭頸部がんに限ったことではございませんが、病院を受診される患者さんは不安を抱え一刻も早く治療してほしいと願って受診されていることと思います。できる限り早く正しく診断し、一日も早く最善の治療が始められるよう心掛けて診察に携わっています。患者さんの困りごとが解決され、人生がよりよいものとなり、みなさんの人生に彩りを添えることができればこの上ない喜びです。



医師紹介

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

主任部長 大久保 淳一 （写真：右）

資格

- 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 認定専門医、指導医
- 日本頭頸部外科学会 頭頸部がん専門医
- 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
- 医学博士

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

部長 高橋 梓 （写真：左）

資格

- 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 認定専門医、指導医
- 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
- 補聴器相談医



消化器がんについて

About gastrointestinal cancer

■ 消化器がんとは

消化器がんは食道・胃・小腸・大腸・肝臓・胆道・膵臓など消化機能に関与する臓器に発生する悪性腫瘍の総称であり、国内におけるがん罹患率・死亡数の上位を占める主要ながん種群です。

■ 早期発見の重要性

消化器がんの多くは初期症状に乏しく、進行してから発見されることが多いためリスク因子を有する患者さんに対するスクリーニングが不可欠です。

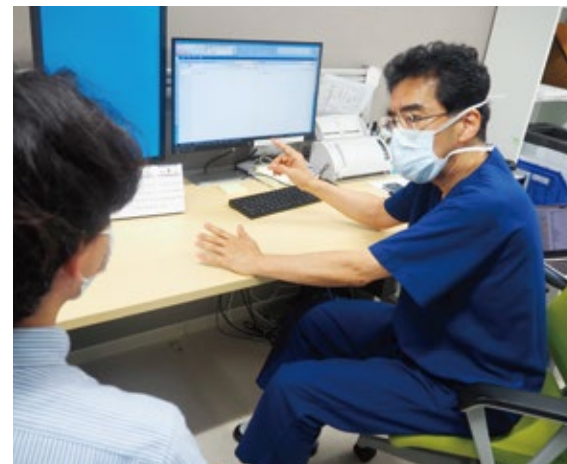
リスク因子

- 感染症：ピロリ菌（胃がん）、B型・C型肝炎ウイルス（肝がん）
- 生活習慣：高塩分食、喫煙、過度な飲酒、肥満
- 既往歴・家族歴：消化器がんの家族歴、炎症性腸炎疾患など



■ 当院について

消化器・肝臓病センターを有しており、消化器疾患・肝臓疾患の専門医・看護師・薬剤師が連携して診療しております。また、当院は内視鏡検査を外科医師が行っているため、診断から治療・手術まで診療科及び医師が変わることなく一貫して外科医師が担当します。早期診断が疑われる症例や検査のご相談がございましたらぜひご紹介・ご連絡ください。



術後疼痛管理チーム 紹介

Postoperative Pain Management Team Introduction

当院では術後疼痛の軽減と早期回復を目的に、多職種による術後疼痛管理チームを組織し、患者中心の周術期疼痛管理を推進しています。チームは麻酔科医を中心に、手術室看護師、薬剤師、臨床工学技士などで構成され、術前評価から術後の疼痛モニタリング、鎮痛法の選定・調整までを一貫して行っています。

痛みの評価にはNRS(Numerical Rating Scale)をはじめとする客観的指標を用い、疼痛の程度に応じて介入内容を調整しています。また、PCA(患者自己調節鎮痛)ポンプを積極的に導入し、患者の自立性を尊重した安全で安定した鎮痛を行なっています。

現在、消化器外科、整形外科(特に人工関節手術や肩関節手術)頭頸部外科を対象に重点的に活動しており、術後合併症の予防、早期離床、入院期間の短縮にも寄与しています。今後も他診療科との連携を強化し、より質の高い疼痛管理を目指して取り組んでまいります。



術後疼痛管理チーム(回診前打ち合わせ)



術後疼痛管理チーム(回診中)



肩・肘関節疾患の最新の治療

Current Approaches to Shoulder and Elbow Joint Disorders

2025年4月から当院に赴任いたしました、整形外科の田島貴文です。当院整形外科では、股・膝関節外科、手外科、外傷など幅広い整形外科疾患に対応しておりますが、今回は私の専門であります肩・肘関節の代表的な疾患について紹介いたします。

手術と保存療法のいずれが適切かを的確に判断し、患者さんにとって最適な治療をご提案致します。診断や治療方針の判断に迷われる患者さんがいらっしゃいましたら、どうぞお気軽にご紹介いただければ幸いです。



整形外科 部長
たじま たかふみ
田島 貴文

■ 主な肩・肘関節の疾患と治療

① 肩関節周囲炎(五十肩、凍結肩)

疾患：40-50歳代に多く見られ、肩の痛みと可動域制限を生じる疾患です。関節包や烏口上腕靭帯の肥厚・炎症が主な病態と考えられています。

治療：時間とともに自然軽快することありますが、痛みや可動域制限が強い場合には注射やリハビリを行います。難治性の場合には、以下の治療法を選択します。

● サイレントマニピュレーション（非観血的肩関節授動術）

伝達麻酔下で非観血的に関節可動域を改善する治療法で、日帰り手術も可能です。

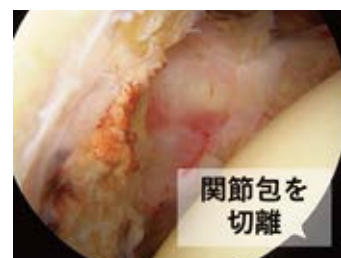
● 関節鏡手術（鏡視下肩関節授動術）(図1)

関節鏡を用いて炎症性滑膜を切除し、肥厚した関節包を切離することで可動域を改善します。

(図1)肩関節拘縮に対する
関節鏡を用いた手術



肥厚した
関節包



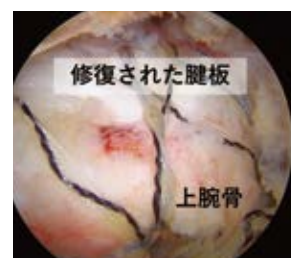
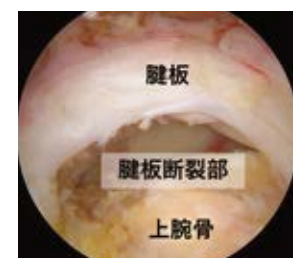
関節包を
切離

② 肩腱板断裂

疾患：肩関節のインナーマッスルである腱板が、外傷や加齢によって断裂し、肩の痛みや筋力低下を引き起こす疾患です。

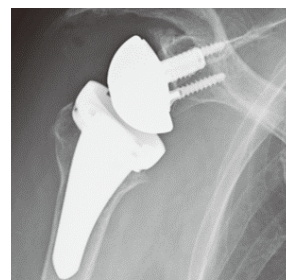
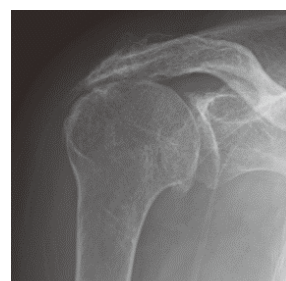
治療：軽症例では注射やリハビリで対応が可能ですが、痛みが強い、可動域が制限される、筋力が弱い場合には以下の手術を行います。

● 腱板の状態がよい場合：
関節鏡を用いた腱板修復手術 (図2)



(図2)腱板断裂のMRIと関節鏡を用いた手術

● 断裂が大きい・腱板の質が不良な場合：
リバース型人工肩関節置換術 (図3)

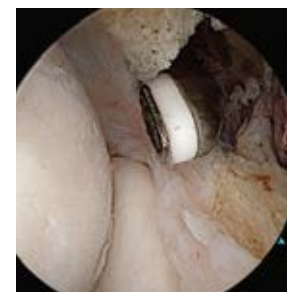
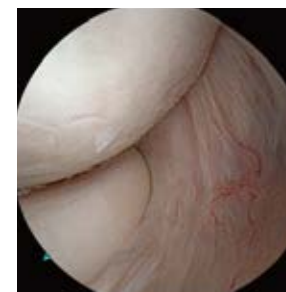


(図3)腱板断裂性肩関節症(腱板断裂が進行して変形性関節症になった状態)
リバース型人工肩関節、ナビゲーションシステムを使用

③ 上腕骨外側上顆炎(テニス肘)

疾患：短橈側手根伸筋の腱付着部の変性によって、肘外側部の痛みを生じる疾患で、40～60歳代にみられます。

治療：多くは保存療法(ステロイド注射など)で疼痛軽減が期待できますが、難治性となった場合には、関節鏡を用いた治療(変性部の切除と緩んだ靭帯を修復)を行います。



(図4)上腕骨外側上顆炎のMRIと関節鏡を用いた手術

医師紹介

- 副院長：岡部 聡(股関節、膝関節)
- 整形外科部長：栗之丸 直朗(股関節、膝関節、外傷)
- 整形外科主任部長：目貫 邦隆(手外科、外傷、骨粗鬆症)
- 整形外科部長：大久保 友貴(外傷、整形外科一般)
- 整形外科部長：田島 貴文(肩・肘・手外科、外傷)
- 整形外科副部長：堀之菌 聡(外傷、整形外科一般)

リハビリテーション

Rehabilitation

当院では腱板損傷やリバース型人工関節置換術(RSA)のリハビリテーションを行っています。術後は基本的に当院のプロトコルに沿ってリハビリテーションを行なっていきます。進行や内容は術前の損傷の程度や部位、術式によって異なっており、医師と連携をとりながらリハビリテーションを進めていきます。

術後早期は患部の安静が主で、患部以外の運動(肘や手、下肢など)を中心に行っていきます。この期間は肩の安静を保つために外転装具の着用が求められます。腱板損傷の手術であれば術後4～6週、RSAの手術であれば術後1週程度で肩の可動域訓練(ROM訓練)が始まり、理学療法士により術部に負担のかからないようにROM訓練を行います。また日常生活が送れるように装具の着脱練習や更衣・入浴動作の練習などを作業療法士と行います。

肩の術後リハビリテーションは長期間かかるため、焦らずに段階を踏み行う必要があります。



理学療法士によるROM訓練



作業療法士による更衣動作練習



作業療法士による洗髪動作練習